

24th Marathon des Sables edition2009

第24回サハラマラソン

2009年3月27日～4月6日

レギュレーション(大会規則)
Regulations

主催: Atlantide Organisation Internationale (フランス)
(アトランティッド オーガニゼーション アンテルナショナル)
住所: BP98, TROYES Cedex, 10003 FRANCE
TEL: (+33) 3 25 76 57 77 FAX: (+33) 3 25 76 87 75
E-mail: aoi@darbaroud.com URL: <http://www.darbaroud.com>

問い合わせ先:
日本事務局: 株式会社フリーマン 海外レース支援室「**国境なきランナーズ**©」
〒101-0064 東京都千代田区猿樂町2-1-2 鎌形ビル
TEL: 03-5280-1352 FAX: 03-5280-1357
E-mail: runners@runners-wb.org URL: <http://www.runners-wb.org>

* 日本からの出場に関して、レギュレーションの日本語版と英仏語版の間で相違がある場合、日本語版に準じるものとする。

* 赤字部分は昨年と変更になって部分です。ご注意ください。

(1) 主催本部および日本事務局	p.2
(2) 競技の定義	''
(3) 大会原則	''
(4) 選手の出場条件	''
(5) 選手カテゴリー	''
(6) レース日程	''
(7) 書類審査と荷物検査(テクニカルチェック)	''
(8) IDマーク(ゼッケン)	'' ~p.3
(9) 個人のスポンサー名の露出	p.3
(10) スタート順位	''
(11) リエゾンステージのレース時間	''
(12) ノンストップレース	''
(13) CP(チェックポイント)	''
(14) 各レースの記録	''
(15) 順位の決め方	''
(16) 水の補給とキャンピング	'' ~p.4
(17) 医療アシスタンス	p.4
(18) 退場・棄権	''
(19) 地上支援(外部からの物品供給)	''
(20) 保険	''
(21) 気候と地形	''
(22) 目印(マーキング)	''
(23) ロードブック	''
(24) 荷物	p.5
(25) 出場登録・出場費用の手続き	'' ~p.6
(26) キャンセル・没収	p.6
(27) ペナルティ	'' ~p.7
(28) ペナルティ一覧	p.7、p.8
(29) 写真	p.7
(30) 賞金	'' ~p.8

レギュレーション(大会規則)

(1) 主催本部および日本事務局

「第24回サハラマラソン」は、アトランティッド・オーガニゼーション・アンテルナショナル(以下AOIと呼ぶ)によって運営され、2009年3月27日から4月6日までモロッコ南部にて開催される。毎年開催のこのイベントは、モロッコ政府観光局の後援により、フランス人をはじめ諸外国から約800名が出場する。日本人選手の出場に関しては、株式会社フリーマンがAOIの正式日本事務局となりサポートする。

(2) 競技の定義

第24回サハラマラソンは、約230kmの距離を複数ステージに分けて、食糧自給によりフリースタイルで走る(歩く)レースである。出場者は、食糧や寝袋などレースに必要なものすべてをバックパックに入れ、それを背負って走らねば(歩かねば)ならない。

(3) 大会原則

第24回サハラマラソンは、レースレギュレーション(=大会規則、改正も含む)に基づいて運営され、出場者は全員、出場登録の時点でレギュレーションに同意しなければならない。

(4) 選手の出場条件

次の条件を満たしていれば誰でも出場可能: 18歳以上で国籍は問わない。ただし、出場可能であることを承認する健康診断書およびECG(心電図)を提出しなければならない。健康診断書およびECGは、レース開催日より30日以内の日付けの入ったものでなければならない。16歳以上18歳未満の者は、両親または保護者からの同意書があれば出場できる。その場合の出場条件は18歳以上と同じ。**40歳以上の選手は負荷心電図をお勧めします。**

(5) 選手カテゴリー

● カテゴリーA … 個人出場

すべての出場者が順位付けされる。総合順位のほかに、女性、男性ベテランM1(40~49歳)・男性ベテランM2(50~59歳)・男性ベテランM3(60~69歳)・男性ベテランM4(70~79歳)、女性ベテランF1(40~49歳)・女性ベテランF2(50~59歳)・女性ベテランF3(60~69歳)・女性ベテランF4(70~79歳)の各部門でも順位付けされる。

● カテゴリーB … チーム出場

1チームは3人以上の選手で構成する。レースに残るためには、チームのメンバーのうち3人が完走していなければならない。しかし、チームで参加の選手も、個人として総合順位に組み込まれる。

(6) レース日程

3/27(金) パリ集合・出発(チャーター便)、モロッコ到着、ビバーク地へ移動
3/28(土) メディカルチェック・テクニカルチェック、午後は自由
3/29(日)~4/4(土) 食糧自給によるレース開催
4/5(日) 表彰式、夕食はパーティ(4日、5日はホテル泊)
4/6(月) モロッコ出発(チャーター便)、パリ到着・解散

AOIは、下記を変更する権利を有する:

— 第24回サハラマラソンのレギュレーション内容

— コース関連【(21)の項参照】

— 気象状況・戦闘・あらゆる侵略行為・締め出しなど、主催者の管理能力を超える事態が発生した場合の、レース開催場所。

(7) 書類審査と荷物検査(テクニカルチェック)

レースに参加できるか否かの最終チェックは、2009年3月28日に実施される。出場者はレース本部へ出頭し、書類審査および荷物検査(テクニカルチェック)を受け、必要要件を満たさなければならない。【(24)(25)(27)(28)の項参照】このチェックの時点で、各選手の装備リストが完成されなければならない。(例: 必須持ち物、食糧、私物など)

主催者は、出場者のバックパック中身に関していつでもチェック・監視する権利を有する。各選手の装備リストにある全物資は、厳密にその選手だけのものである。リストの物資が失われている場合には、捨てた・紛失した・盗まれたに関わらず、ペナルティが適用される。出場者は各自の持ち物に対して責任がある。【(27)(28)参照】

注意: レース中、リュック内の物資に関して、主催者はいっさい管理しません。

(8) IDマーク(ゼッケン)

レース前の書類審査と荷物検査の際、大会本部より各選手に以下が手渡される:

1. ゼッケン(IDマーク) 2枚

(サイズ: 約20×18cm、1枚は前(Tシャツ)に、もう1枚は後ろ(バックパック)につける)

2. IDマーク(ゼッケン)のチェック【(9)(27)(28)参照】

選手はゼッケンをレース中、常に着用しなければならない。運営スタッフが随時チェックを行なう。ゼッケンを覆うことは厳禁する。選手は各自で、ゼッケンがきれいか、見やすいか、破れていないか、正しい位置につけられているかどうかを、常に確認する義務を負う。ゼッケンを紛失・破損した場合に備えて、主催者本部は予備のゼッケンを用意する。各選手はゼッケンに関するルールを厳守しなければならない。違反した場合は厳しいペナルティが適用される。

注意: 大会本部は、ゼッケンの位置に関してかなり厳しくチェックします。よって、各自で広告やパブリシティーをつける場合は、Tシャツやバックパックのどの位置につけるか、今から十分検討すること。

(9) 個人のスポンサー名の露出

公式ゼッケンを着用した後の余ったボディスペースには、選手個人のスポンサー名を着用できる。例、Tシャツ(胸以外)、短パン、靴下、バックパックなど。しかし、広告が大きすぎる場合や、大会のパートナー企業と直接的な競合状態にある企業の広告の場合には、大会本部はその個人スポンサーを禁止する権利を有する。

(10) スタート順位

各ステージのスタートはグループ分けされる。ただしノンストップレースでは、各リストにて順位の高い選手に関しては、第1陣がスタートしたあと約3時間遅れでスタートする。最終ステージでは、順位の低い選手からスタートする。各選手は大会本部から指示された時刻にスタートすること。

(11) リエゾンステージのレース時間

リエゾンステージ(ノンストップやマラソンステージ以外のステージ)は、10時間以内に完走しなければならない。マラソンステージは、最長で12時間まで認められている。CP3(約30km地点)は、各ステージのスタート後9時間で締切となる。この地点を9時間以内に通過しない選手は全員失格となる。【(27)(28)参照】(CP=Check Point, チェックポイント)

(12) ノンストップステージ

一部、夜にかかる約80kmのノンストップステージでは、34時間以内に完走しなければならない。このステージでは、CP4(約45km地点)をスタート後16時間で締切となる。この地点を16時間以内に通過しない選手は全員失格となる。【(27)(28)参照】CP4を通過した後は、どこでビバークするかは各自の自由だが、コースの軌道から外れないこと。

(13) CP(チェックポイント)

毎日のスタートとゴール地点(ミネラルウォーターの補給場所)もCPと見なされる。CPは、各日のコース上に設けられている。コースの長さにより2カ所から6カ所あり、出場者はすべてのCPを通過しなければならない。CPを通過しなかった場合は、ペナルティが課せられる。【(27)(28)参照】CPでは、タイムの確認と水の補給が行われる【(16)参照】。各CPでは、医療アシスタンスが受けられる。

(14) 各ステージのゴールポイント

各ステージのゴール地点では、オフィシャルタイムキーパーが、ゴールした順に各選手のその

日の順位付けをする。各ゴール地点でもポイントカードにパンチをしてもらい水が支給される。

(15) ランキング

すべての選手のタイムは、時間、分、秒で記録される。

●カテゴリーA <個人ランキング>

各日のランキングは、その日走った時間とペナルティがある場合はそれを加えて順位付けされる。総合順位は各日の記録が全て加算されて決まる。

●カテゴリーB <チームランキング>

チームの場合、各日のランキングは、チームの各メンバーがその日走った時間と、ペナルティがあればそれを加えた合計タイムから、チームの平均タイムを算出して順位付けされる。総合順位は各日の記録が加算されて決まる。【(27)参照】

(16) 水の補給とキャンピング

本部は選手全員にウォーターを責任もって供給する。補給量は以下のとおり:

リエゾンステージ:

1人1日10.5リットル

- ー毎朝スタート地点で1.5リットル
- ーレース中のCPIにて、1.5リットルを2~3回
- ーゴール地点で4.5リットル

マラソンステージ:

1人1日12リットル

- ー朝スタート地点で1.5リットル
- ーレース中1.5リットルをCP1と3で
- ーCP2で3リットル
- ーゴール地点で4.5リットル

ノンストップステージ:

1人につき2日で22.5リットル

- ー朝スタート地点で1.5リットル
- ーCP1、3、6で各1.5リットル
- ーCP2、4、5で各1.5または3リットル
- ーゴール地点で4.5リットル
- ー2日目、9時前に到着した場合、ビバーク地で4.5リットル
- ー2日目、9時以降に到着した場合、ビバーク地で3リットル

毎朝、選手のビバーク地にて、ロードブックに記載されたタイムに応じてレーススタート前に配られる。【(13)(27)(28)参照】選手は各自、いつ水が配られるかに応じて上手に水をやりくりすること。手に入る水は前述のみ。

注意: 空のペットボトルをコース上に捨てた選手には、ペナルティが課せられる。空のボトルは、CPIにある回収箱に入れること。【(27)(28)参照】

注意: どこかに行くときは必ず水を携帯すること。もしも砂漠で迷った時、水の有無が命に関わります。

注意: 各ステージ出発前、水を支給する場所はチェックポイントになる。AOIはCP1に到着するのに必要な水1.5リットルを支給する【(13)(16)参照】

ビパークについて: ビパークは、事前に決められた場所に毎日テントが張られ、そこが選手のキャンプ地となる。(テントは8人用) 選手は余った時間で、寝る準備をしたり、必要であればケガの手当てなどを行なう。

(17) 医療アシスタンス

本部により選ばれたスポーツと熱帯医療専門のチームが、レースコースを伴走する。医療チームは各CPとゴール地点にも待機し、肉体的・精神的に疲労の激しい選手がいたらベースキャンプ地まで退避させる。レース続行が物理的に難しいと判断される場合や、生命に関わるような手当を受けた選手に関しては、医療チームはその選手のゼッケンを取り上げ、レースから退場させることができる。【(27)(28)参照】

(18) 退場・棄権

途中で棄権したい場合は、いかなる状況においても、選手は本部に報告してAOI所定の棄権届に署名をして退場すること。報告なしに退場した場合は、その選手を探し出すのにかかった費用を自己負担してもらうことになる。レースを棄権した場合は、必ずそれを本部に報告し、レーススタッフにゼッケンを返却すること。これに従わない場合にはペナルティが課せられる。【(27)参照】3人のチームのうち1人が棄権した場合は、1時間のペナルティが課せられる。【(27)(28)参照】棄権した選手には安全保証金は返金されない。【(27)【28】参照】

棄権したい選手には、以下のオプションが用意されている:

- 1 健康状態が危険な場合には、緊急帰国の手配がされる。
- 2 肉体的には問題がないが棄権したい場合は、
 - 1) AOI所定の棄権届に署名した後、最終ゴール地点まで本部の車で移動し、そこでレース終了を待つ。(実現可能かどうかはその時の状況による。宿泊費、食費は自己負担)
 - 2) 毎朝、各レースのスタート地点からゴール地点まで本部の車で移動していく。

レースを棄権した後、各ステージのゴール地点で待機する選手は、自動的にAOIの指示に従うものとする。食事は本部が支給するものを取り、各自が持参した食糧は本部に引き渡す。

(19) 地上支援(外部からの物品供給)

サハラマラソンは、気候や地形的に条件が非常に厳しいサハラ砂漠で開催されるレースであることを、参加者はよく認識すること。大会本部以外からのいかなる外部支援は、厳しく禁止されている。もし選手がレース中、他の誰かから支援を受けた場合は、重いペナルティが課せられる。コースから大幅にはずれ、長時間の捜索を必要とした場合、安全保証金は没収となる。【(27)(28)参照】

(20) 保険

レース参加者全員の緊急退避をカバーする保険が、大会本部によってかけられている。

保証内容は以下のとおり:

- ー治療上の理由による送致費用(フランス又はヨーロッパまで)
- ー死亡時の送還費用: 実費(フランス又はヨーロッパまで)
- ー死亡時の輸送に必要な経費(1525 Euros)
- ーモロッコ国内での治療費(5600 Euros)

参加者は、この種のレースで起こりうる危険を熟知の上、大会に参加すること。大会参加は各自の自由意思によるものであり、健康状態の悪化により倒れたり、事故にあつたりした場合には、大会主催者および株式会社フリーマンは一切その責任を負わない。

注意: 各自で自国の傷害保険などに必ず加入すること。

(21) 気候と地形

3月・4月の平均気温は日中約30℃、夜間約14℃

約230kmのコースには、さまざまな地理条件が広がる。視界がゼロになるほどの砂嵐が起こった場合には、その場に立ち止まりレーススタッフの指示があるまで動いてはならない。大会本部は、気象条件や地域のルールにより、ステージのコースや距離を変更する権利を有する。

(22) 目印(マーキング)

参加者は、大会本部により目印をつけられたコースに沿って進むこと。これに従わない場合はステージにより、ペナルティが課せられる場合がある。リエゾンステージでは、約500メートルごとに目印がつけられる。中には際立った特徴のある自然地形が、目印代わりになることもある。ノンストップステージでは、夜間はライトアップされたマークが目印となる。

注意: ノンストップステージとマラソンステージでは、CP3からゴールまで、light beaconsがコースマークの替わりになる。

(23) ロードブック

ロードブックは、大会本部のコースディレクターの厳格な調査に基づいて作成される。正確なコ

ース内容は、レーススタート前々日の配布時まで公表されない。ロードブックには、各ステージの詳細やサポート情報などの様々な情報が記載されている。レース中、ロードブックを携帯していない選手には、ペナルティが課せられる。【(28)参照】

毎朝主催者により、その日のレースに関する説明が、フランス語と英語により行なわれる。

(24) 荷物

<食料>

必須装備であるサバイバルギアほか各自の所有物(食料・サバイバルキットなど)は、全部あわせて重さを6.5-15kgの範囲におさめること。この最低・最高重量には、各日供給される水は含まれない。荷物に関して、各選手は以上の要件を、現地で行なわれる荷物検査の際必ず満たしていなければならない。【(27)(28)参照】

●Food

各選手はレース期間中(スタート初日の朝食からレース最終日の朝食まで)は、食糧を自給自足しなければならない。各自の個人的嗜好・健康状態・気候条件・体重・バックパックの都合などを考えて、最適な食糧を自分で選ぶこと。いずれの航空会社、チャーター便とも、ガスボンベ(調理用)、ホワイトガソリンの持込を、機内預け・手荷物ともに禁止しているので注意。

各選手は必ず、14,000キロカロリー分の食糧を持参し、1日最低2,000キロカロリー分の食糧を摂取しなければならない。これを守らない場合はペナルティが課せられる。【(27)(28)参照】。ガスコンロは使用禁止。

●サバイバルギア(必須装備):

- ーバックパック(または相当品) ー寝袋
- ー懐中電灯とスペアの電池 ー安全ピン10個
- ー制度の高いコンパス ーライター(100円ライターも可)
- ーナイフ ー強力な消毒剤・液
- ー毒素抽出用のスネークポンプ ーホイッスル(笛)
- ーシグナル用の鏡 ーアルミ製のサバイバルシート

●サバイバルキット(大会本部が配布):

- ー緊急用の発煙筒
- ー固形の塩(タブレット) ー照明スティック(ノンストップステージ用)

上記のサバイバルキットは、モロッコで荷物検査(テクニカルチェック)の際配られる。緊急用の発煙筒はレース終了時に本部に返却すること。

(25) 出場登録・出場費用の手続き

出場費は、参加国によって変動するので出場登録ファイル(Registration Form)を参照。

自国に AOI の代表機関がある場合、各選手は自国にて出場手続きをとらなければならない。

従って日本国籍の場合は、(株)フリーマンを通じて申込まなければならない。出場費用は、サポ

ート内容に応じて各国で異なる。代表機関が自国にない場合は、フランスの主催者に直接申込む。

●カテゴリーA: 個人エントリー

1. 出場費用 480,000円 (ただしパリ集合・解散)
2. 安全保証金45,000円 (ペナルティや棄権がない場合は、レース終了後返還される)

上記費用に含まれるもの;

- パリーモロッコ間の往復航空運賃
- モロッコ到着・出発時のバスでの移動
- レース中のキャンプ費用 ■モロッコでのホテル宿泊(2泊) ■**ケータリング**
- レース中の水
- フランスまたはヨーロッパへの緊急帰国保険料
- テクニカルサポート ■医療アシスタンス
- 空と地上からのサポート ■サバイバルキット
- 完走メダル ■Tシャツ

■レースのDVD(8月頃送付予定)

支払い先は、別紙同封の用紙をご覧ください。

●カテゴリーB: チームエントリー

1. 出場費用 510,000円 (ただしパリ集合・解散)
2. 安全保証金 45,000円 (ペナルティや棄権がない場合は、レース終了後返還される)

条件および手続きは個人エントリーの場合に準じる。

チームエントリーの場合は、以下も出場費用に含まれる。

- ー公式プレスキット(報道資料)の中にチーム名を記載
- ーチーム部門でのランキング
- ーチーム内各選手の個人ランキング

●支払いの期日:

1. 2008年10月20日(月)まで(カテゴリーA、B共)
申込金(28万円)と安全保証金(45,000円)合計325,000円
2. 2009年2月10日(火)まで

出場費用の残金 200,000円(カテゴリーA)

出場費用の残金 230,000円(カテゴリーB)

出場手続き(支払いや書類)に不備がある場合や、期限を守らない場合には、申込を受理しない。出場手続きは下記の手順で完了すること:

1. Registration Form: 出場登録用紙(英語)
英仏語版を切り取って使うこと。一番下の Signature のスペースには自筆サインに加

え自筆で“read and approved”と記入。

2. Personal Information:住所、連絡先等(英語、右上に写真添付)

英仏語版を切り取って使うこと

※上記1~2の書類にはサインと日付を忘れないように記す

3. Form For The Press(英語、左上に写真添付)

英仏語版を切り取って使うこと

この用紙はそのまま選手リストブックとして編集され、取材マスコミに公開されます。

4. 誓約書(日本語)

5. サハラマラソンアンケート用紙(日本語、写真添付)

6. 残存期間が有効なパスポートのコピー(写真の貼ってあるページ)1枚

7. 顔写真 合計4枚

(裏面に英語で氏名と国名を記入、うち3枚は上記2、3、5の書類に添付する)

8. 「HOTEL」と書かれた用紙。この用紙は、ゴールしてから2泊泊まるホテルの部屋割りのための用紙です。2人1部屋です。お一人で参加の方は、事務局でペアリングしますので下から2行目のNameとFirst Nameのところは空白のままお送りください。

9. 長期間治療を受けている場合、その病名と服用している薬、治療法をかかりつけのドクターに書いてもらい、その診断書を封印し送付してください。(封書のあて先は The Medical Director)

以上の申請書類一式は、株式会社フリーマン「サハラマラソン事務局」まで申込金の送金にあわせ郵送すること。(振込先は別紙用紙に記載)

注意: Medical Certificate(健康診断書)はAOI指定のものを使用し、レーススタート日より30日以内に医師の診察を受け、心電図も同時に用意する。Medical Certificate(健康診断書)は、その用紙に日付と医師のサインをもらい、各自でレースに持参すること。Medical Certificate(健康診断書)、および心電図はコピー不可。これらの書類は、スタート前日のテクニカルチェックで提出する。不備がある場合はペナルティが課せられる。【(27)(28)参照】

注意: 事前に心電図などに異常がないかどうかを確認してから申し込まれることをお勧めします。心電図は負荷心電図でなくてもかまいません。

注意: 保険には参加者が各自で必ず加入すること。

追加料金:

2月10日(火)の指定期日までに所定の費用が支払われない場合は、追加料金として出場費用全額の10%が課せられる。

* 主催者および(株)フリーマンは、場合によっては出場申込を拒否する権利を有する。

(26) キャンセル・没収

出場取消しと払戻しの請求は、誤解を避けるため必ず文書にて(株)フリーマンに連絡するこ

と。

その場合の払戻しは、下記の条件に基づいて行われる:

—2008年7月31日までの場合…1万円没収

—2008年10月31日までの場合…出場費用の10%

—2008年12月31日までの場合…出場費用の20%没収

—2009年2月28日までの場合…出場費用の30%没収

—2009年3月1日の午前0時以降にキャンセルの申し出があった場合、100%没収。

* 出場をキャンセルした場合の費用が保証される保険に加入することをお勧めします。

* レース自体が中止になった場合にはAOIおよびフリーマンはすでに受け取った全額を返金する。

(27) ペナルティ

書類審査と荷物検査(テクニカルチェック)での不備:

書類審査と荷物検査(テクニカルチェック)(3月28日)に30分以上遅刻した選手は、遅刻した時間分がペナルティとして課せられる。また(24)の項で定められたサバイバルギア(必須装備)のアイテムで準備していない物がある場合は、失格となる。提出書類に不備がある場合は、ペナルティが課せられる。荷物が最低・最高重量の範囲外である場合も、同様にペナルティが課せられる。【(28)参照】

健康診断書:

メディカルチェックの際、レーススタート日から30日以内の日付が入ったAOI指定の健康診断書および心電図を提出できない選手には、ペナルティが課せられる。その場合は安全保証金が没収されると同時に、その場でレースドクターによる健康診断を受けて認められないと、レースに出場できない。【(28)参照】

個人所有物のリストアップ:

自分の持ち物の中から何かを捨てたい場合は、ビバーク地の責任者に申告すること。CPIにおいて、持ち物のいずれかが紛失していて、正当な理由が述べられない場合は、厳しいペナルティが課せられる。【(28)参照】

食糧:

規定: 14,000キロカロリー

レース中の抜き打ち検査の際、1日につき最低2000キロカロリー分の食糧を提示できない場合には、2時間のペナルティが課せられる。【(28)参照】

IDマーク(ゼッケン):

大会本部から渡されたゼッケンを損傷または紛失した場合は、直ちにレース役員に知らせること。さもなければペナルティが課せられる。ゼッケンを着用していない選手は、失格となる恐れがある【(8)(9)(28)参照】。ゼッケンに何らかの変更を加えた場合は、直ちにレースから退場させられ、同時に安全保証金も没収される。【(28)参照】

レースのスタート:

スタート時に、名前とゼッケン番号が呼ばれた時スタートラインに現れない選手には、遅れた時間分のペナルティが課せられる。30分以上の遅刻は失格となるので、その場合はゼッケンを返却すること。【(28)参照】

CP(チェックポイント):

選手は各スタート前のCP、コース中のCPおよびゴール地点で記録されなければならない。違反の場合、1回目は1時間のペナルティ、2回目は2時間、3回目にはレースから退場させられる。【(28)参照】

制限タイム:

各ステージにおいて、制限時間内に完走しなければ失格となる。その場合はレース役員にゼッケンを返却する。マラソンステージならチェックポイント3、ノンストップステージならチェックポイント4を、制限時間内に通過しない場合も失格となる。【(28)参照】

緊急発煙筒:

正当な理由なく危険信号の発煙筒を乱用した場合は、1時間のペナルティが課せられる。【(28)参照】

棄権:

レースを棄権したい場合は、直ちに大会役員に申し出ること。棄権の場合、安全保証金は没収される。4人以上いるチームメンバーのうち1人が棄権する場合は、そのチームには1時間のペナルティが課せられる。ただしチーム内の最低3人の選手がレースにとどまっていることが条件。【(28)参照】

ドーピング:

医療チームにより不法薬物の使用が認められた選手は、レースから退場させられる。【(28)参照】

他人からの物品供給(地上支援):

外部からの支援は一切禁止されている。食糧・水の援助を他人から受けた場合には、1回目は3時間のペナルティ、2回目には退場となる。生命に関わるような医療アシスタンス(点滴など)を受けた場合は、1回目は2時間のペナルティ、2回目には退場となる。2輪車または4輪車による交通手段を使用した場合は、レース退場となる。コースから大幅にはずれ、長時間の捜索を必要とした場合、安全保証金は没収となる。【(28)参照】ボトルから水がもれてきたなどのケースで、本部より追加の水を受けた場合は、1回目は30分のペナルティ、2回目には1時間のペナルティ、3回目には退場となる。

水と環境保全:

レースのコース上で、飲料水のペットボトルが発見された場合には、ペナルティが発生する。食料の包装やほかのゴミをレースコース上に捨てることは厳しく禁じられており、ペナルティの対象となる。【(28)参照】

不服の申し立て:

不服の申し立ては書面にて受け付ける。1)レース中は選手のビバーク地点で受け付ける。48時間以内に回答する。2)レース後の、4月5日は Ouarzazate(ワルザザット)の Information Pointにて。(ロードブックに記載)。3)4月6日から4月20日までは文書を主催者(AOI)に郵送してください。

(28) ペナルティ一覧 p. 8参照

(29) 写真

AOIはサハラマラソンで撮影される写真の権利を有する。AOIが個人や団体の名前と写真を、サハラマラソンに関わるものに使用するかもしれないことを承知すること。サハラマラソンの期間中にスチールカメラ、ビデオにより撮影したものは、個人的目的以外には、AOIの許可なく使用することはできない。

(30) 賞金

総合順位

●個人

- 1位…トロフィー・5000Eurosの小切手
- 2位…トロフィー・3000Eurosの小切手
- 3位… トロフィー・1500Eurosの小切手
- 4位~10位…トロフィー・次回の出場費用から500Euros割引

●チーム

- 1位…トロフィー・3550Eurosの小切手
- 2位…トロフィー・2800Eurosの小切手
- 3位…トロフィー・2000Eurosの小切手

特別部門

●女性

1位…トロフィー・4000Eurosの小切手

2位…トロフィー・2000Eurosの小切手

3位…トロフィー・1000Eurosの小切手

●男性ベテラン

M1の1位…トロフィー・1000Eurosの小切手

M2の1位…トロフィー・500Eurosの小切手

M3の1位…トロフィー、M4の1位…トロフィー

●女性ベテラン

F1の1位…トロフィー・700Eurosの小切手

F2の1位…トロフィー、F3の1位…トロフィー、F4の1位…トロフィー

●ディリーレースチャレンジ賞(レース中の各ステージにおける敢闘賞)

各ステージで男女それぞれ1位の選手には、次回の出場費用から400Euros割引。(次回出場積み立て)

*個人総合順位で表彰された女性の場合、その女性は、女性部門のランキングの賞金は加算されない。

(28) ペナルティ一覧

	理由	失格・退場	ペナルティ種類	安全保証金
1	メディカル・テクニカルチェックへの30分以上の遅刻		遅れた時間分	
2	書類不備・血液型の不備		30分	
3	健康診断書と心電図の未提出	レスキューされた場合、即	1時間	即没収
4	バックパックの不携帯	即		即没収
5	寝袋または高精度コンパスの不携帯		3時間	
6	サバイバルキット・ロードブック・固形の塩・1日2000kcal分の食糧・アルミ製サバイバルシートの不携帯		2時間	
7	安全ピン・ナイフ・ホイッスル・消毒剤・鏡・スネークポンプ・金属製の懐中電灯とスペア電池・ポインティングカード、ライターの不携帯		1時間	

(28) ペナルティ一覧

	理由	失格・退場	ペナルティ種類	安全保証金
8	荷物の重量違反		1時間	
9	持ち物の紛失		30分	
10	ゼッケンの未着用	2回目で	1回目は警告	2回目で没収
11	ゼッケンの不適切な着用	3回目で	1回目は警告 2回目は30分	3回目で没収
12	ゼッケンの修正・書き換え	即		即没収
13	各ステージのスタートにおける30分以内の遅刻		遅れた時間分	
14	同30分を超える遅刻	即		即没収
15	制限時間の超過	即		即没収
16	マラソンステージCP3での時間切れ	即		即没収
17	ノンストップレースCP4での時間切れ	即		即没収
18	CPでのチェックインなし	3回目で	1回目は1時間 2回目は2時間	3回目で没収
19	マーキングから外れて走った場合		最低4時間	
20	CPでの出発の遅れ		30分	
21	非常発煙筒の乱用		1時間	
22	棄権	即		即没収
23	4人以上のチームで1人が棄権の場合		1時間	
24	棄権によりチームメンバーが3人未満の場合		チーム登録の失効	
25	ドーピング・交通手段の利用	即		即没収
26	他人からの物品供給	2回目で	1回目は3時間	2回目で没収
27	追加の水の供給	3回目で	1回目は30分 2回目は1時間	3回目で没収
28	生命に関わる医療アシスタンス(輸血など)	2回目で	1回目は2時間	2回目で没収
29	コースから大幅にはずれる			即没収
30	ペットボトルやゴミなどを捨て環境を悪化させる行為	3回目で	1回目30分 2回目1時間	3回目で没収